

新型コロナウイルス感染症対策緊急政策パッケージ

第2弾

新型コロナウイルス感染症の総合対策を充実・強化するため、「子どもと生活の支援」「地域経済の支援」「感染拡大の防止と医療体制の充実」の3本柱とする総額約4.2億円の緊急政策パッケージ(第2弾)を展開し、市民や事業者を全力で支援します。この総合対策は、補正予算成立後、速やかに実行していきます。

新型コロナウイルス感染症対策

4億2,460万円

亀山市

I 子どもと生活の支援

2億8,273万円

国民健康保険税の市独自の減免制度の拡充等

国・県・市制度 市独自

【一般会計繰出金等】1,383万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の事業収入等の減少が見込まれる世帯等に対し、国民健康保険税を市独自制度を加えて減免します。また、新型コロナウイルス感染症に感染した被用者に対し傷病手当金を支給します。

全児童生徒への1人1台タブレットの実現

国・市制度

2億5,600万円

義務教育段階からICTを活用することにより、児童生徒の情報活用能力の育成を行うため、小・中学生1人1台分のタブレット端末を整備します。

小・中学校の給食時等における感染防止対策の徹底

市独自

900万円

小・中学校の児童生徒・教職員用の卓上シールド、教職員用フェイスシールド等を購入します。

放課後児童クラブにおける感染防止対策の徹底

市独自

294万円

放課後児童クラブが感染防止対策物品を購入するための補助等を行います。 ※市長・副市長・教育長並びに議員の期末手当減額分を活用します。

模擬授業動画の制作

市独自

96万円

学校再開後に、授業が行われなかった期間分の学習を効率的かつ効果的に行えるよう、オリジナル学習教材を制作します。

II 地域経済の支援

1億3,000万円

亀山版/持続化給付金制度「けいぞく」の創設【地方創生臨時交付金活用】

市独自

1億500万円

国が支給する「持続化給付金」の対象とならない市内の中小企業者、小規模事業者等に対し、市独自の給付金を支給します。

休業要請に対する協力金の交付【地方創生臨時交付金活用】

県・市制度

2,500万円

三重県の新型コロナウイルス感染症拡大阻止による休業要請に対する協力金の1/2を市が負担します。

III 感染拡大の防止と医療体制の充実

1,187万円

市立医療センターへのPCR外来検査センターの設置等

市独自

【一般会計繰出金】380万円

市立医療センターにPCR検査用の検体を採取するための「亀山地域外来検査センター」を設置するとともに、医療機器の購入を行います。

「WHO健康都市/免疫力アップ大作戦」の展開

市独自

150万円

免疫力を向上させる取組を啓発するため、食材や食事、レシピの紹介、屋内でできる運動の紹介を掲載したリーフレットを作成し、全戸配布を行います。

災害時における避難所の感染防止対策の強化

市独自

100万円

指定避難所の運営において必要となる感染防護衣、段ボールパーティション等を購入します。

医師会等との連携による感染防止の啓発の強化

市独自

30万円

亀山医師会等との連携により感染防止の取組を啓発するチラシを作成し、全戸配布を行います。

医療資材等の確保

市独自

360万円

住民接種に必要なワクチンを保管するための薬用冷蔵ショーケースや亀山市社会福祉協議会へ支給する衛生用消耗品等を購入します。

図書館における感染防止対策

市独自

167万円

書籍を経由した感染を防ぐためのブックシャワー・ライブラリーグローブを購入するとともに、学習室内での感染を防ぐための換気扇等を設置します。